

## 情報の共有と消去を考えるボードゲームのデザイン 検討（実習の構想発表）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小林, 好恵, 西川, 純平, 山岸, 耕太郎, 山本, 祐輔, 大木, 哲史 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00026590">http://hdl.handle.net/10297/00026590</a>

## 情報の共有と消去を考えるボードゲームのデザイン検討

小林好恵, 西川純平 (行動情報学科), 山岸耕太郎 (情報社会学科), 山本祐輔,  
大木哲史 (学術院情報学領域)

欧州における GDPR (General Data Protection Regulation: 一般データ保護規則) の施行にともなって, 忘れられる権利に対する関心が高まっている. 忘れられる権利は, 一定の要件を満たす場合に, 管理者に対し, 自らに関する個人データを削除させる権利であるとされる. 現在の日本において, このような個人情報保護のかたちを明確に定めた法律は存在せず, 今後の法整備に際して, 個々の国民が忘れられる権利に関する意見を持つことが重要となる. 本研究では, 忘れられる権利と社会のメタファーとなるようなボードゲームのデザインを検討する. このゲームをプレイすることで, 各プレイヤーは忘れられる権利に関わる様々な視点から, その問題点や適用範囲, 実現可能性を考えることを促される.

(先端情報学実習・Hack the Learning, 担当教員: 山本祐輔, 大木哲史)